

取引先の経営改善や成長力の強化

① ライフステージ別の長期資金残高（2019年3月末） 177億円

埼玉県



ライフステージ別の長期資金

プロパー・制度資金	JA 信連	新規就農関連資金	農業近代化資金	負債整理資金
		103百万円	2,342百万円	0百万円
		/	アグリマイティー資金	/
			60百万円	
			農機ハウスローン	
4,721百万円				
その他農業者向け資金	415百万円			
金庫	農業者向け資金		230百万円	
	日本公庫 受託資金		青年等就農資金	農業経営基盤強化資金（スーパーL）
		587百万円	4,699百万円	

その他農業関連資金

その他農業関連資金
4,516百万円

その他農業関連資金
0百万円

※上記残高は、長期資金(災害資金除く)のみを集計しているため、ディスクロージャー誌等の残高数値と異なります。

ライフステージ別に応じた支援事例

業種	-	使 途	農機具購入資金等
経 緯 ・ 目 的	<p>次世代を含む農業者の円滑な営農活動を支援するため、事業間の情報共有を強化し、融資業務に対応できるTAC（営農経済渉外）を育成するとともに支店との連携を深める必要があること、および担い手の農業所得向上を図るため資金面でのサポートを目的に実施しました。</p> <p>J A農機ハウスローンW応援キャンペーン・J A独自資金であるJ A農業資金（担い手応援）をPRし、利用度の向上を図るとともに、TACミーティング・TAC会議に担い手リーダー（融資課長）が毎月参加し、情報の共有化を図っています。</p>		
効 果	<p>組合員の営農経営について内容を理解することができるようになり、組合員の抱える問題点、J Aへの要望等について聞き取りができるようになりました。</p> <p>また、認定農業者制度の理解を深めメリットを組合員に伝え、相談できる提案が行えるようになりました。</p>		

ライフステージ別に応じた支援事例

業種	-	使 途	農機具購入資金等
経 緯 ・ 目 的	<p>新規就農者の中には農業次世代人材投資事業（経営開始型）の対象とならない45歳以上の独立就農者、あるいは親元就農者も多く存在しています。</p> <p>全国施策（新規就農応援事業）においては、将来の担い手育成という観点に基づき45歳未満の新規独立就農者を対象としていますが、地域農業基盤の維持・地域活性化の観点からは、親元就農者等も含めた幅広い支援が必要であると考えており、本施策を実施することとしました。</p>		
効 果	<p>助成申請者 59名、助成総額 24百万円の実績となり、全国施策よりも幅広い支援・地域農業基盤の維持に寄与しました。</p>		